

【主催】 但東 野あそびくらぶ いつなつと / コミュニティたかはし たかねつと
「小さな自然再生」研究会 / 日本河川・流域再生ネットワーク

【協力】 滋賀県立大学環境科学部・瀧研究室

「小さな自然再生」現地研修会（第21回）開催報告

2023年10月20日（金）兵庫県豊岡市・出石川



開会



座学研修



出石川での実践



研修会終了後の記念撮影



日本河川・流域再生ネットワーク

2024年1月



公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。

「小さな自然再生」現地研修会（第21回）

開催報告

2023年10月20日（金）兵庫県豊岡市・出石川

はじめに

兵庫県豊岡市を流れる円山川流域出石川において、「できることからはじめよう：魚がすみやすい川づくり」をテーマに、地域資源のひとつである出石川をまちづくりや地域活性化にどう活かしていけるのか、小さな自然再生でできることを考え実践しながら参加者で学び合うことを目的に「小さな自然再生」現地研修会を開催しました。

この開催報告は、研修会の参加者とともに学び議論した内容の一部を、当日の写真を中心に皆様にご紹介するものです。

本研修会にご参加、またご協力頂きましたの皆様には厚く御礼申し上げます。

2024年1月

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

開催概要

- 開催日時： 2023年10月20日（金）10:00～16:00
- 開催場所： 兵庫県豊岡市但東町<座学：高橋地区コミュニティセンター／現地：出石川>
- 参加者： 49名
- 主催： 但東 野あそびくらぶ いつなっと / コミュニティたかはし たかねっと
「小さな自然再生」研究会 / 日本河川・流域再生ネットワーク
- 協力： 滋賀県立大学環境科学部・瀧研究室

プログラム

(10:00～11:00) 小さな自然再生についての座学研修 @高橋地区コミュニティセンター

- 開会挨拶
- 出石川について（藤木 恭子：但東 野あそびくらぶ いつなっと）
- 但東町の淡水魚（北垣 和也：NPO 法人コウノトリ市民研究所）
- 小さな自然再生のすすめ ～出石川でできることはたくさんある～
（三橋 弘宗：兵庫県立 人と自然の博物館）

(11:00～11:30) 出石川の移動 及び 現地活動準備

(11:30～12:30) 出石川での小さな自然再生の実践 @出石川

- 現地技術指導：三橋 弘宗（同上）、「小さな自然再生」研究会
石組みやバープ工による手づくりでの魚の棲み家づくり 他

(12:30～14:00) 片付け、座学研修会場への移動、昼食

(14:00～15:30) まとめ、質疑応答 @高橋地区コミュニティセンター

(15:30) 閉会

開会挨拶



主催・共催者を代表して、コミュニティたかはし たかねっとの小峠会長 及び 但東野あそびくらぶ
いつなっとの西垣代表より、今回の開催経緯を含む研修会の趣旨説明を行いました。

座学研修



出石川について

(藤木 恭子：但東 野あそびくらぶ いつなっと)

- 出石川の特徴（位置、地形、地質、
- 平成16年10月の台風16号被害、復旧工事、オオサンショウウオ保護
- 暮らしと出石川（写真で見る今昔）



但東町の淡水魚

(北垣 和也 : NPO 法人コウノトリ市民研究所)

- 但東町に生息する約20種の淡水魚から10種類を紹介
(カワムツ、タカハヤ、カマツカ、ズナガニゴイ、ニシシマドジョウ、ナマズ、アカザ、カジカ、カワヨシノボリ、オオヨシノボリ 等々)
- 但東町の淡水魚はどんな場所に生息し、何を食べているか



小さな自然再生のすすめ ～出石川でできることはたくさんある～

(三橋 弘宗 : 兵庫県立 人と自然の博物館)

- 出石川など中小河川が抱える課題と川の仕組み
- 社会要求と公共事業でできることの限界
- 小さな自然再生のすすめ ～小規模技術はなぜ大切か？
- 小さな自然再生の事例紹介と副次効果 ～できることはたくさんある

現地演習

テーマ：「魚がすみやすい川づくり」

座学で学んだ知識を踏まえ、小雨が降る中、出石川においてバープエづくりなど魚がすみやすい場づくりの実習を行いました。









三橋弘宗先生より川の流れの仕組みや生きものへの効果を解説

意見交換会

座学と実習で学んだ知見を踏まえ、これから出石川でできそうな小さな自然再生の取組みについて参加者でアイデアを交換しました。



出石川での現地演習のあとは、各団体のリーダーが交流し、活動の取組みを話し合いました。座学と実習で学んだ知見を踏まえ、これから出石川でできそうな小さな自然再生について参加者でアイデアを交換しました。また、円山川漁業協同組合からは、小さな自然再生に取り組む時期やタイミングなどのアドバイスもいただきました。

閉会



兵庫生物学会但馬支部長・菅村さん 及び 円山川漁協同組合長・福井さんよりご挨拶



研修会終了後の記念撮影



但東 野あそびくらぶ いつなつと から参加者へ自家製鹿肉カレー

参考資料 1 – 地元からの研修会開催報告及び経過観察



但東 野あそびくらぶ いつなっと

2023年10月22日・🌐

【10/20 川の小さな自然再生 現地研修会を行いました】

昔は魚がうじゃうじゃいた。地区の方々から子ども時代の話聞くたびに、羨ましいと思っていました。「魚は手づかみで獲れた」「柳の下ではウナギがぎょーさん釣れた」「石を並べて深みを作って遊んだ」昔の川に戻るのは無理だとわかっているけど、今の私たちにだって目の前の川で出来ることあるはず。そんな思いからこの「小さな自然再生」の研修会がスタートしました。

第一部は県立人と自然の博物館の三橋弘宗先生に「川の小さな自然再生」についてわかりやすくお話しいただきました。

第二部は出石川へ移動し、パープ工を2本作りました。川の仕組みや落ち葉堆積の重要性、そして小さな自然再生を行うことによる波及効果など、今回の研修会で皆さんと共に学ぶことができました。また、現場での生の声を聞いたことの意義はとて大きかったと感じています。

今後も但馬内外、各団体の皆さんの交流が続き、それぞれのフィールドで水辺の小わざが生まれ、魚や水生昆虫が増えていきますように！但馬内外から集まってくださった皆さん、最高に素晴らしい一日をありがとうございました。また来年もお会いしましょう！

🌿 水辺の小さな自然再生について知りたい方はこちら→ <http://www.collabo-river.jp/about/>

🌿 写真提供 遠藤真森さん、山下文生さん

#たかねっと

#いつなっと

#小さな自然再生

#但東町

#奥山ジビエ





但東 野あそびくらぶ いつなっと

2023年10月26日 · 🌐

【出石川レポート2023年10月26日】

小さな自然再生 現地研修会、6日後の出石川の様子です。

パープ工と呼ばれる石積みによって作られた緩やかな流れには、無数の稚魚がついていました。浅瀬の砂のたまりはカワニナの這い跡だらけになっていました。水生昆虫たちもすぐにやってくるでしょう。

この小さな魚の赤ちゃんたちは、いざとなるとパープの石の隙間に逃げ込むことができます。稚魚が大きくなるには冬場に水温が高いところ、つまり川の中の湧き水が大切だそうです。そして、ある程度、魚が大きくなると、深みや流れが必要となります。パープの先端によってできる水の流れは、大雨の度に川底の砂を流し出し、深みを作ってくれます。

今日は見に行ったついでに、石を足したり、ちょちょっと動かしたりもしました。誰もが気が向いた時に手直しできることが「小さな自然再生」の醍醐味でもあります。



但東 野あそびくらぶ いつなっとさんの今の気分: 😄 わくわく

2023年11月9日 · 🌐

【出石川レポート2023年11月9日】

10月20日に川の中にパープ工を作ってから3週間が経とうとしています。川の様子が少し変わってきました。

先日の強風で、木から飛ばされた落ち葉がパープの緩やかな流れの場所に溜まってきていました。手を入れてみると、コオニヤンマのヤゴや稚魚がたくさん。パープの下流側、流れによって砂と石に篩い分けされたゾーンにはシマドジョウが湧いていました。今までもシマドジョウはいたものの、こんなにたくさんのシマドジョウが集まっているのを見たのは初めてです。

生きものはいい環境があれば湧くように増えていく、そんなことを感じた一日でした。



参考資料 2 – 参加者募集チラシ（表面）



【開催趣旨】 日曜大工のような感覚で、小規模に低コストで行う「川の小さな自然再生」とはどのようなものなのでしょう。そして、地域資源のひとつである出石川を、まちづくりや地域活性化にどう活かしていけるのでしょうか。さまざまな角度から愉しく学び、だれもが実践できる現地研修会を開催します。あなたのフィールドでも試してください。私たちが川でできることはきっとまだまだあるはずです。

開催日時	令和5年10月20日（金） 10：00～16：00（受付開始：9：30～）
会場	兵庫県豊岡市但東町<座学：高橋地区コミュニティセンター / 現地：出石川>
対象	小さな自然再生に関心のある方々
定員	40名程度（先着順）
参加費	無料
持ち物	川の中で滑らない靴（アクアシューズ、鮎たび等）、作業用手袋、雨具、昼食
プログラム	※プログラム及び講演タイトルは一部変更の可能性もあります。 ※主催者側で行事保険に加入いたします。また、主催者側でライフジャケットを用意します。

※参加申込方法、会場へのアクセス、
問合せは裏面をご覧ください。

(10:00～11:00) 小さな自然再生についての座学研修 @高橋地区コミュニティセンター

- 開会挨拶
- 小さな自然再生のすすめ ～出石川でできることはたくさんある～（三橋 弘宗：兵庫県立 人と自然の博物館）

(11:00～11:30) 出石川の移動 及び 現地活動準備

(11:30～15:30) 出石川での小さな自然再生の実践 @出石川 ※途中で昼食時間を設けます

- 現地技術指導：三橋 弘宗（同上）、「小さな自然再生」研究会
- 水生昆虫の見分け方講座
- 石組みやバープ工による手づくりでの魚の棲み家づくり 他

(15:30～16:00) 片付け 及び 座学研修会場への移動

(16:00) 閉会 @高橋地区コミュニティセンター



公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。

主催：但東 野あそびくらぶ いつなつと、コミュニティたかはし たかねつと、「小さな自然再生」研究会、
日本河川・流域再生ネットワーク
協力：滋賀県立大学環境科学部・瀧研究室

参考資料 3-参加者募集チラシ（地元用）

できることから、はじめよう

参加
無料

川の 小さな自然再生 現地研修会

10月20日(金) 10:00-16:00

〈開催場所〉

豊岡市但東町高橋地区の出石川

川で活動をする際に役立つ水辺の小わざを
全国から集まった川のプロから学ぶ一日。
川にくらす生きものをもっと増やすには？
川をまちづくりや地域活性化に活かす方法は？
子どもたちや地域の人たちと取り組むには？
あなたのフィールドでもお試してください。
私たちが川でできることは
きっと、まだまだあるはずです。

詳しくは裏面へ

共催：但東 野あそびくらぶ いつなっと / コミュニティたかはし たかねっと

協力：「小さな自然再生」研究会 / 滋賀県立大学環境科学部・瀧研究室 / 日本河川・流域再生ネットワーク

この事業は、第21回「小さな自然再生」現地研修会として行われます

川の できることから、はじめよう 小さな自然再生



日曜大工のような感覚で、小規模に低コストで行う「川の小さな自然再生」とは、どのようなものなのでしょう。そして、地域資源のひとつである出石川を、まちづくりや地域活性化にどう活かしていけるのでしょうか。さまざまな角度から楽しく学び、だれもが実践できる現地研修会を開催します。

開催日時

令和5年10月20日(金) 10時から16時
受付は9時30分より開始

集合場所

兵庫県豊岡市但東町久畑830
高橋地区コミュニティセンター

対象

小さな自然再生に関心のある方々

定員

40名程度

持ち物

川の中で滑りにくい靴、作業用手袋、昼食

現地技術指導

三橋弘宗

兵庫県立 人と自然の博物館 主任研究員
円山川水系自然再生推進委員
兵庫県環境影響評価審議会委員



魚や水生昆虫が棲みやすい川づくりは、大きな石を並べたり、スコップで掘って、少し流れを変えるなど、地域の方で取り組むことができます。今回の講座では、そんな方法と川の自然のしくみについて解説します

プログラム

※雨天時は状況に合わせて
屋内中心にて実施します

10:00~11:00

ミニ座学
高橋地区コミュニティセンターにて

『小さな自然再生のすすめ』

- 川の小さな自然再生とは
- 川の自然再生が地域にもたらす効能
- 自然再生のメリットとデメリット

11:00~11:30

出石川への移動および現地活動準備

11:30~15:30

※途中、昼食時間を設けます

現地研修 出石川にて

『川の小さな自然再生の実践』

- 水生昆虫から川の状態を読み解く
- 石組みやバープエを使ってじわじわと生きものを増やす方法
- 川をもっとおもしろい場所にするには

16:00

閉会

高橋地区コミュニティセンターにて

参加
無料

お申し込み・お問い合わせ

QRコード、または、お電話やメールにて、お申し込みください

☎070-1792-4048

但東 野あそびくらぶ いつなっと / コミュニティたかはし たかねっと

✉ tantouitsunatto@gmail.com



お申し込み
QRコード



「小さな自然再生」現地研修会（第21回）開催報告

～ 2023年10月20日（金）兵庫県豊岡市・出石川 ～

2024年1月31日

【発行】

日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）

〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 NMF茅場町ビル7階

公益財団法人リバーフロント研究所 内

電話:03-6228-3861 Fax: 03-3523-0640

E-mail: info@a-rr.net

URL: <http://www.a-rr.net/jp/>

Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>

※JRRN 事務局は、公益財団法人リバーフロント研究所が公益を目的に運営を担っています。